



令和8年度 杉戸町立高野台小学校学力向上プロジェクト

杉戸町教育行政重点施策

夢を抱き 未来を生き抜く杉の子教育

- 1 確かな学力と自立する力の育成
 - (1) 一人一人の学力を伸ばす教育の推進
 - ① 杉戸町学力向上プロジェクトの実施(誇れる学校づくり推進事業)

学校教育目標

- かしこい子
自ら考え、自ら学び、進んで判断・実行する子
- やさしい子
思いやりがあり、助け合う子
- たくましい子
心身を鍛え、健康でねばり強い子

目指す児童像(全力できらり輝く笑顔)

- 主体的に学び、自らの考えを深め高める児童
- 学びの目的意識をもち、共に学び、高め合える児童
- 学びをもとに自ら考え・判断し、進んで実行できる児童
- 自分のよさを認識し、自信をもって行動できる児童
- 互いに認め合い、誰とも協力し合える児童
- 最後までねばり強く取り組む児童
- 進んで運動に親しみ、心も体も健康な児童

学級経営

学びの約束づくり

- 児童と共につくる学びの約束
- 杉戸町・高小スタンダードの実践
- 授業・生活の約束10か条等による規範意識の向上

安心して学び合いができる
心豊かな学級経営の確立

道徳の授業の充実

- 道徳実践力と豊かな心を育む道徳授業

特別活動の充実

- 主体性を高める学級会、縦割り活動の工夫・充実
- 自分のよさを知り、自分の居場所を実感できる教育活動

学級経営の充実(授業改善の土台)

- 安心して学び合える人間関係づくり
- 自己肯定感・自己有用感を高め、自分のよさが分かるような取り組み

★一人一人のよさを認め、
褒め、見届け、一人一人を伸ばす!
非認知能力の育成

学びを自分事とし、考え、高め合い、実行する子の育成

～学びの過程とゴールを共有した授業づくりを通して～

『学びに向かう』目指す児童の姿

- ・学びの目的意識をもち、学びを「自分事」としてゴールに向かって取り組むことができる子
- ・自分の課題を見つけ、解決に向けての道筋を考えることができる子
- ・対話を通して、考えを深めることができる子



授業改善

主体的・対話的で深い学びへの授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した授業の展開

- ・一人一人が自分なりのねらいや課題をもって自分で学んでいく
- ・必要に応じて他者に助けを求めながら学んでいく

～個別最適な学びを行う中で、協働的な学びが自然に行われていくような授業～

○教師が1時間の授業で、教科の本質(その時間でおさえるべき見方・考え方)をしっかりと把握した上で授業デザインを行い、それを貫いた授業を行う

○子供たちと学びを共有する

【共有すること】

- 単元に入る前・・・①単元の流れ ②この単元で身につけること
- 毎時間・・・①本時の課題 ②本時の目標(課題に対して自分の目標をもてるように)
- ③ 本時の学習の進め方 ④見方・考え方 ⑤本時のルーブリック 等

○インプットした学びをアウトプットすることを大切にする
(学びを自分なりにまとめて提出することや友達に伝えるなど)



基礎力・学習スキルの育成

基礎力の育成

- 学力・学習調査の分析と指導の改善
- ドリルパークの実施
- 学力向上週間の実施
- タイピング検定の実施

学びの把握・学習スキルの育成

- 自分の苦手なところやつまずきの把握
- 書くスキル(考えを整理して)
- 聴くスキル(相手の意図を考えながら)
- 話すスキル(相手にわかるように)
- 読むスキル

(教科書を正しく読んで理解)

- タブレット活用スキル年間計画の実施

家庭学習の共通実践

- 家庭教育の役割(確認・見届け・定着)を保護者と共有し、保護者と学校で協力した上での家庭学習の実施
- 目的意識をもって自ら学び続ける学習習慣の定着
- 自主学習コンクール・自主学習ノート目標冊数達成者表彰の実施